

高校生の現実を踏まえた キャリア教育・労働法教育と キャリア支援センター

神奈川県立田奈高等学校
教諭 吉田 美穂

発表の構成

- * 高校生の現実を踏まえた田奈高校の実践
 - * アルバイトと労働法教育
 - * キャリア教育
 - * サポステと連携したキャリア支援センターの展開
- * 支援を支える条件とは...
 - * 困難を抱える生徒が多い高校への資源の集中
 - * 適格者主義を超える学校組織文化の構築

神奈川県立田奈高校とは...

- * 全日制普通科 創立34年目
- * 横浜市北部・私鉄沿線の住宅地に立地
- * クリエイティブ・スクール
- * 進路多様校

進路先	
大学	38
短期大学	10
専門学校	53
公務員	1
就職	29
進学準備	10
就職準備	33
未定・その他	30
計	204



クリエイティブ・スクールとしての田奈

- * 学力検査のない入試
- * 30人以下の学習集団
 - 英・数は、15人のレッスン・クラス
- * 対話を重視した生徒指導
- * 教育相談コーディネーターを中心とした教育相談
- * 「個別支援・早期支援・段階的支援」の学習支援
- * 地域と連携するコミュニティ・スクール

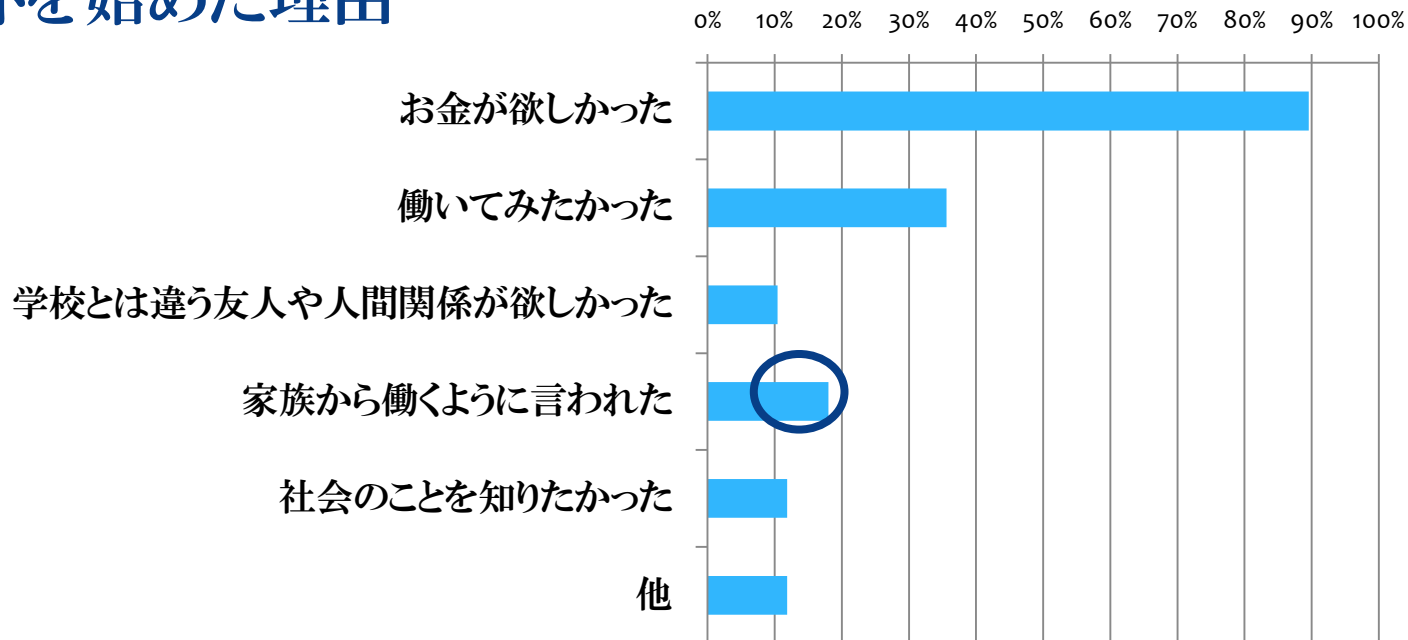
生徒が抱える様々な課題

- * 学力の面で課題を抱えている生徒が多く、自己肯定感が低い
- * 自分の感情をうまくコントロールして、人との関係を円滑に作り上げていく力が弱い
- * 背景に、厳しい経済状況や不安定な家族関係がある場合も少なくない
 - 高い授業料免除率(～2009年度)、母子家庭率
- * 厳しい雇用・経済状況の中で進路を切り開くことが難しい

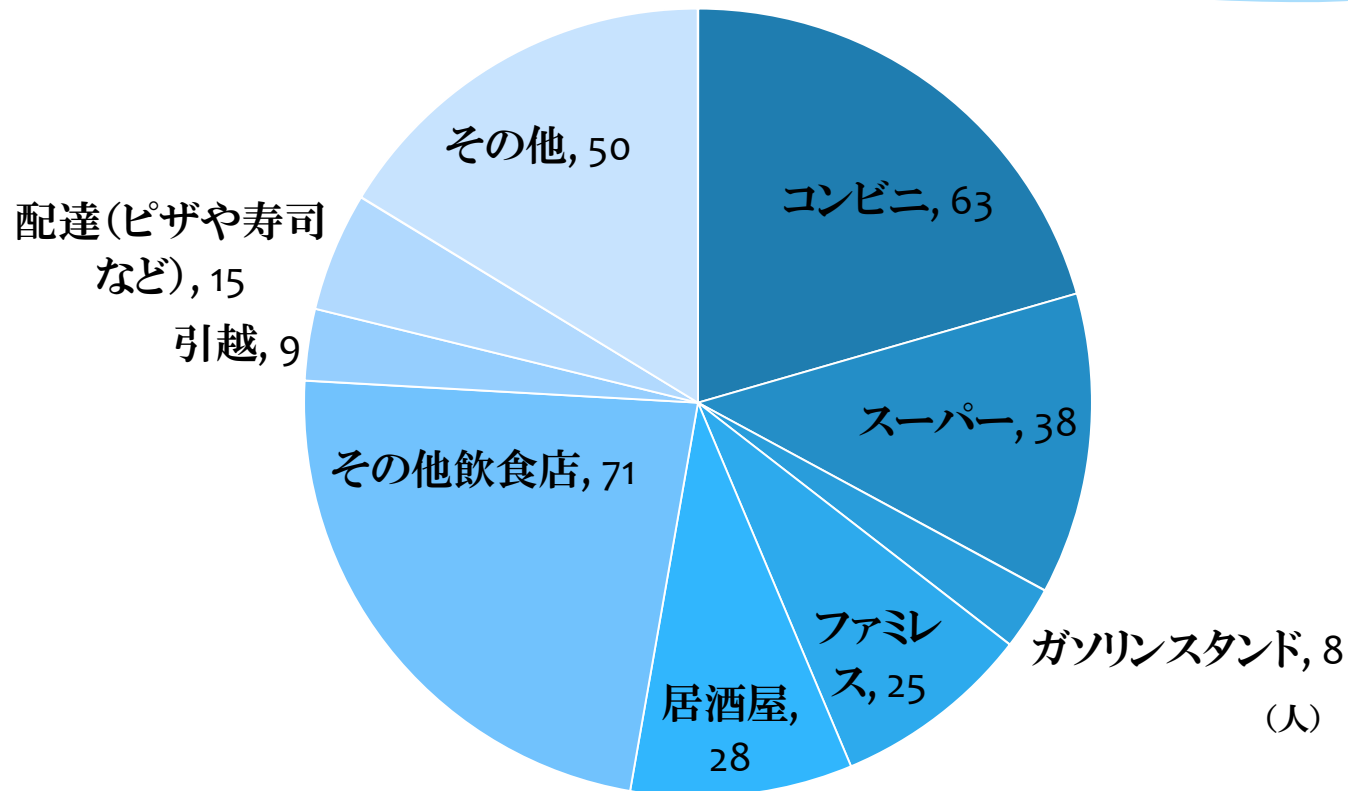
「生徒の現実を踏まえる」とは？

具体例◆アルバイトからの教育実践

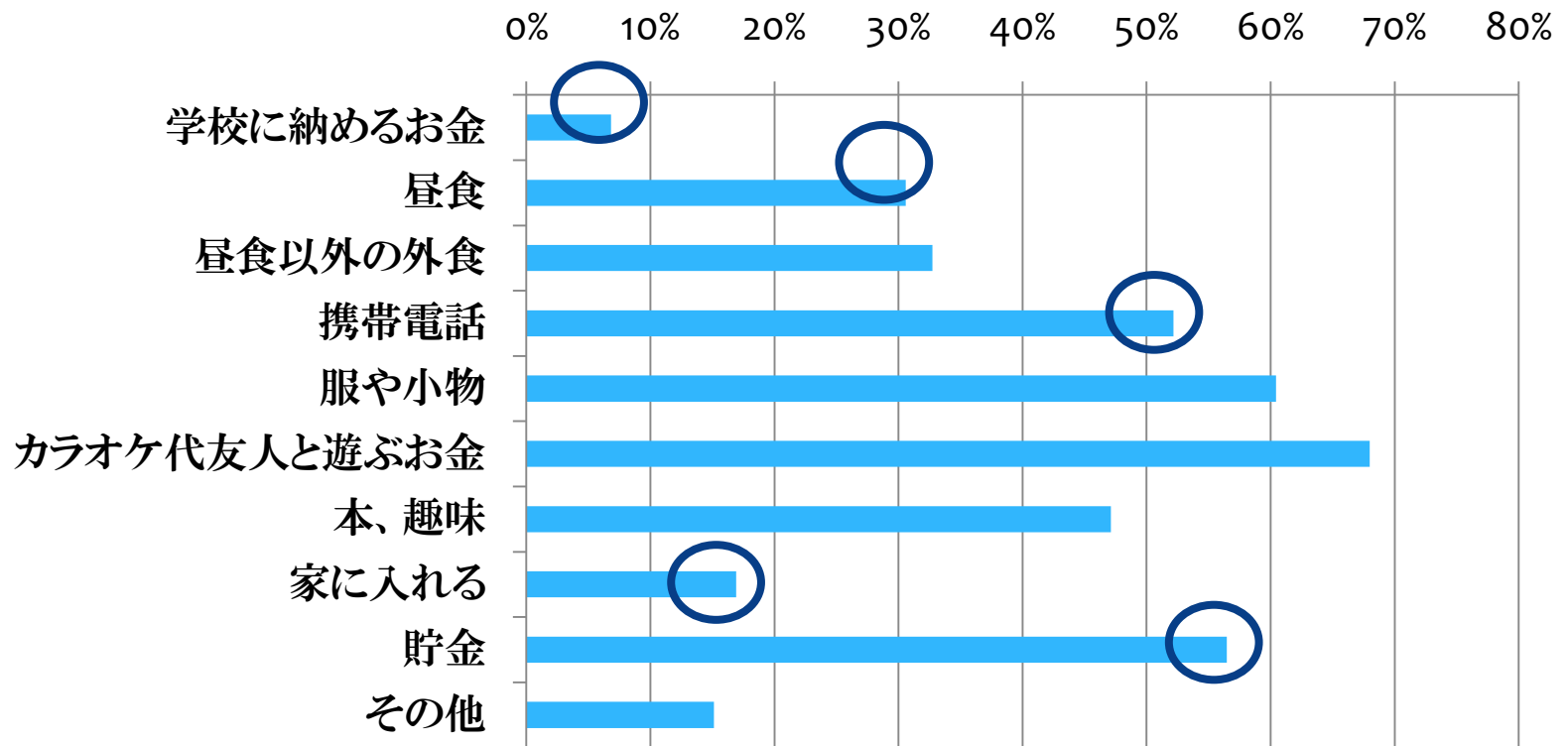
- * アルバイト経験率 68.8% (1年生2月) 76.1% (3年生2月)
- * 平均 週3.2日 時給847円 平均月収4.2万円
- * アルバイトを始めた理由



アルバイト先

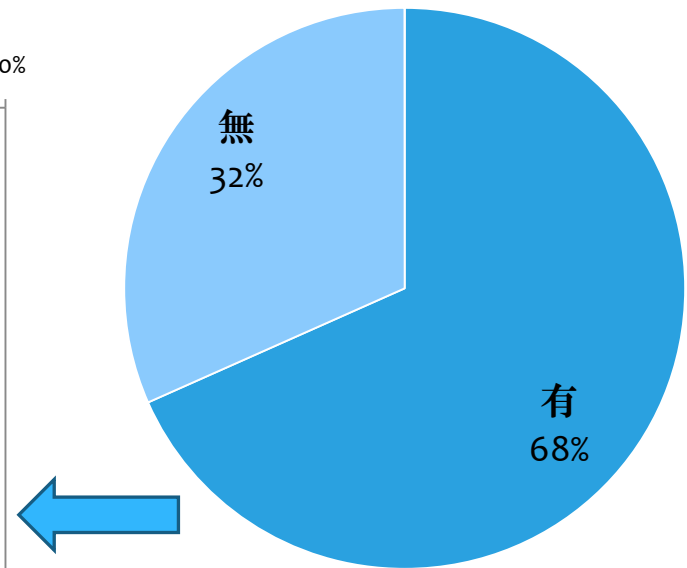
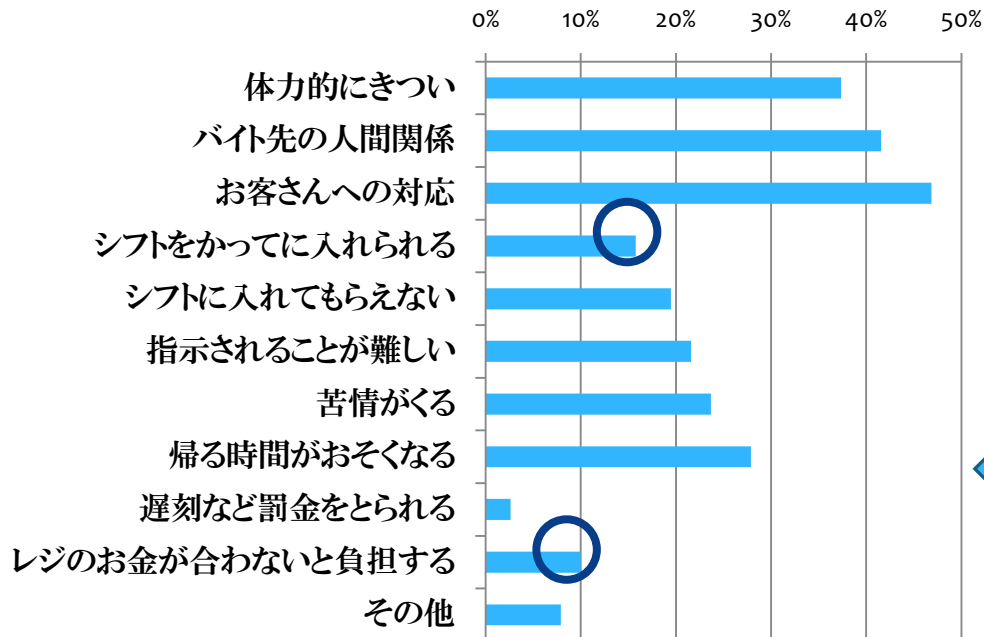


アルバイト代の使途



アルバイトから労働法を考える

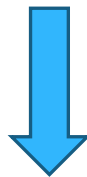
- * 守られない最低賃金 (20人/278人)
- * 罰金・賠償
- * やめさせてもらえない



アルバイトをして困ったことはありますか

卒業後もアルバイトという現実

- * 厳しい雇用情勢
- * 進学費用を用意できない家庭の厳しい経済状況



- * 就職できなくても働かざるをえない。そのまま非正規労働へ

「労働者」としての高校生の存在
非正規雇用への移行は高校時代から始まっている

公民科の取組から学校のキャリア教育へ

* 政治経済の授業で始めたアルバイト・クイズ

フリーターには労働基準法は適用されないのですか？

口頭(話し合い)で、仕事の条件の話をして働き始めたので、契約書をかかわしていません。それでも労働契約にあたりますか？

神奈川県に住んでいます。近所のお店でバイトして、もらっている賃金が、時給700円です。安くて不満だけどその契約で始めたので、しかたないでしょうか？

仕事が遅いと言われ、バイト代は同じままで、残って仕事をさせられます。残業代を払ってもらえるのでしょうか？

* 総合的な学習の時間で展開するキャリア教育に 組込み、すべての生徒に提供できるプログラムへ

「生徒の現実を踏まえた」 田奈高校キャリア教育 3つの視点

* 地域・体験

- 地域の事業所での体験を通して、周囲の大人への信頼と、自分への自信を育む
- アルバイトでは知ることのできない職場を知る

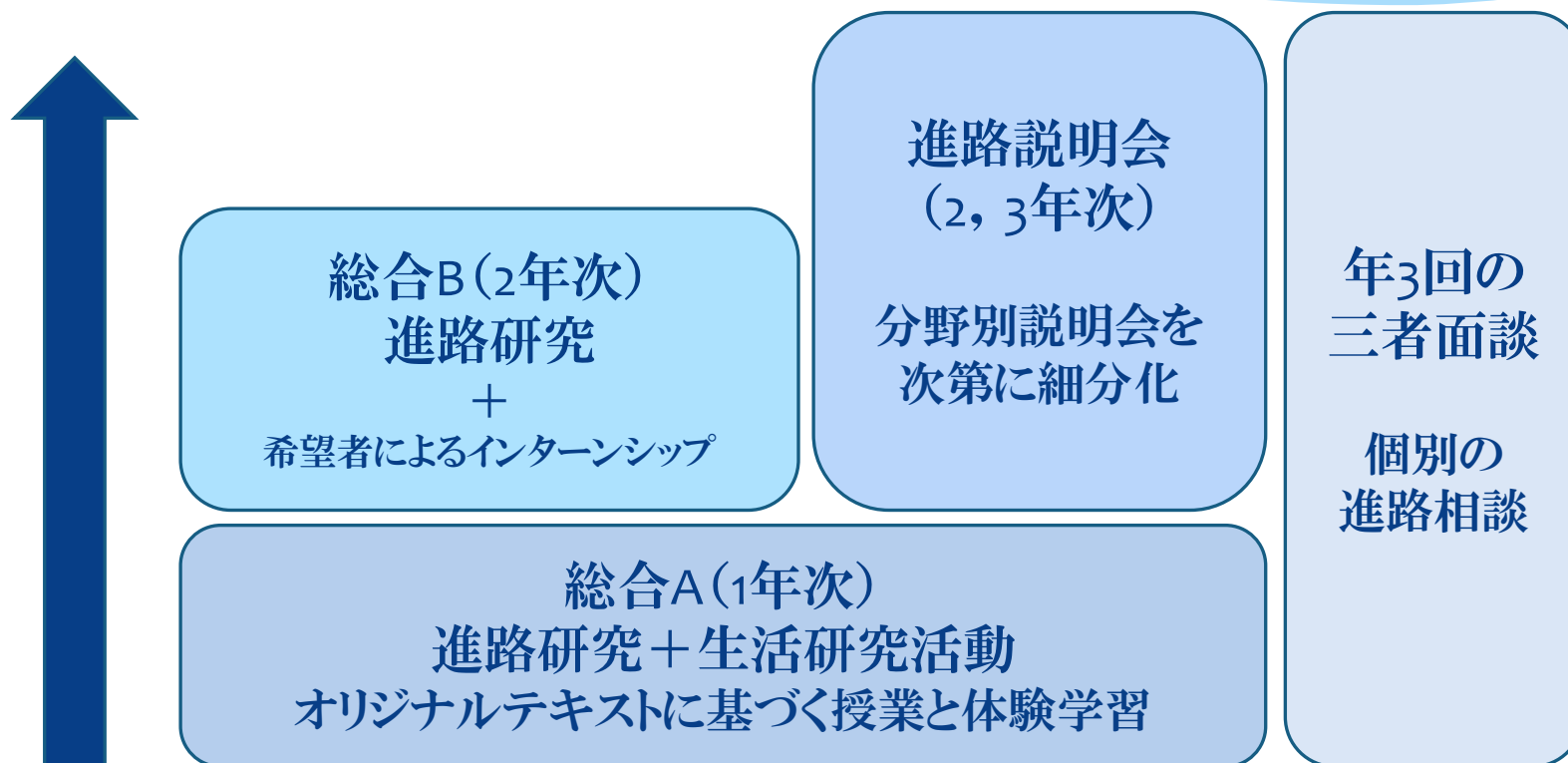
* リスク回避

- 「フリーターは不利」で終わらない労働法教育
- いざというとき、相談できるスキルを身に付ける

* 生活

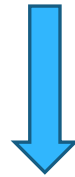
- 現在の生活と将来の生活を結びつける
- 生活の基本をみつめる
睡眠・食事、ストレス・マネジメント、デートDV など

田奈高校のキャリア教育の展開



高校の中にキャリア支援センターを

- * 就職できないまま卒業する生徒たち
- * 卒業・中退後も顔を見せにやってくる卒業生・中退生たち
- * しかし、彼らにとって公的な支援機関の敷居は高い



- * 卒業生・中退生の相談にも応じられるキャリア支援センターを校内につくり、生徒を公的な相談機関等につないで、サポートできないだろうか...

田奈高校キャリア支援センター

田奈高校 キャリア支援センター

運営組織

センター長：副校長

事務局長・事務局担当：本校教員（授業時数軽減）

外部機関等からの就労支援者等：外部からの専門家（各々週数回）

※ほぼ毎日キャリア・コンサルタント等による相談支援が可能

田奈高校
キャリア支援グループ

在校生への支援

- ◆ キャリア教育プログラムの策定
・プログラムの研究・開発
- ◆ キャリア発達支援
・キャリア・コンサルティング
- ◆ 3年次進路実現に向けた支援
- ◆ 教員・保護者向けのキャリア

卒業生・中退者への支援

- ◆ 進路実現に向けた支援
・キャリア・コンサルティング
・その他ライフプランに係る
様々な相談への対応
- ◆ 連携コーディネーター
- ◆ 卒業生・中退者の状況把握・分析
- ◆ 包括的な自立支援に向けた関係
機関との連絡・調整

田奈高校キャリア支援センター 推進連絡協議会

神奈川県労働局

港北ハローワーク

横浜市青少年育成課

放送大学教授 宮本みち子氏

神奈川県教育局 等

地域の未就労・未就
学の若者への支援

子ども・若者ビジョン
(2016～2020年度)

子ども・若者育成支援
推進法（2016～2020年度）

キャリア支援センターの具体的展開

2011年6月現在

- * 週1回、横浜若者サポートステーションから、2名のスタッフが来校
⇒相談を受け、必要に応じて、外部の機関につなぐ
- * 全曜日、キャリア・カウンセラー、キャリア・コンサルタントへの相談が可能
- * 横浜市青少年育成課との連携
- * 連携先の専門学校による職業訓練 など

田奈でやっていることは どの高校でもできるか？

支援・連携を成功させるための2つの条件

条件1 資源の確保

- 「対話」的实践のためのコミュニケーションと連携を可能にする
教員数
- 連携に積極的な関係機関や団体

条件2 「支援」を中心とした学校組織文化の構築

条件1

学力下位校に集中した資源の投入を

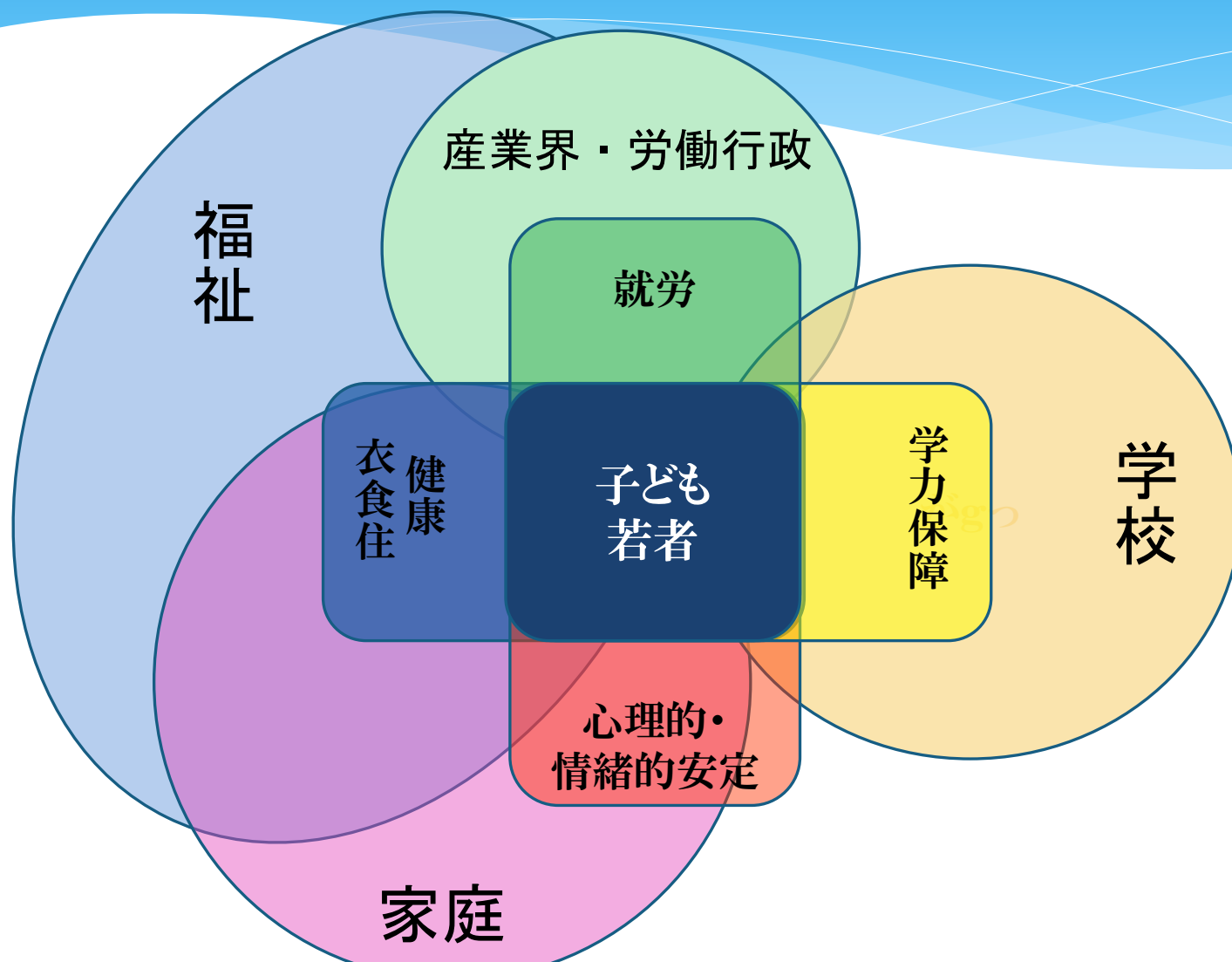
- * 経済格差が学力下位校の困難を生んでいる。
- * 高校中退を防ぎ、高校卒業後の進路未決定者を支えることが、貧困の再生産を防ぐことにつながる。

学校が生徒を支えること \equiv 社会を支えること

 学力下位校の社会的なミッション

しかし本来、それは**過重な負担**

子ども・若者を自立まで支えていくためには...



学力下位校では、あらゆる側面を学校が支えざるをえない
⇒学力下位校を社会・行政が支える

* 授業時間以外の負担の大きさ

巡回／立番／教室に入れたい生徒への対応
問題行動への対応／健康を守ること など

客観的な条件は重要

* 田奈高校の教員体制

◆クリエイティブスクールとして、定数＋8人程度の加配

◆連携を担う教員の授業時間減

教育相談コーディネーター／キャリア教育コーディネーター
キャリア支援センター／生徒指導担当 など

この上に連携が成り立っている

条件2

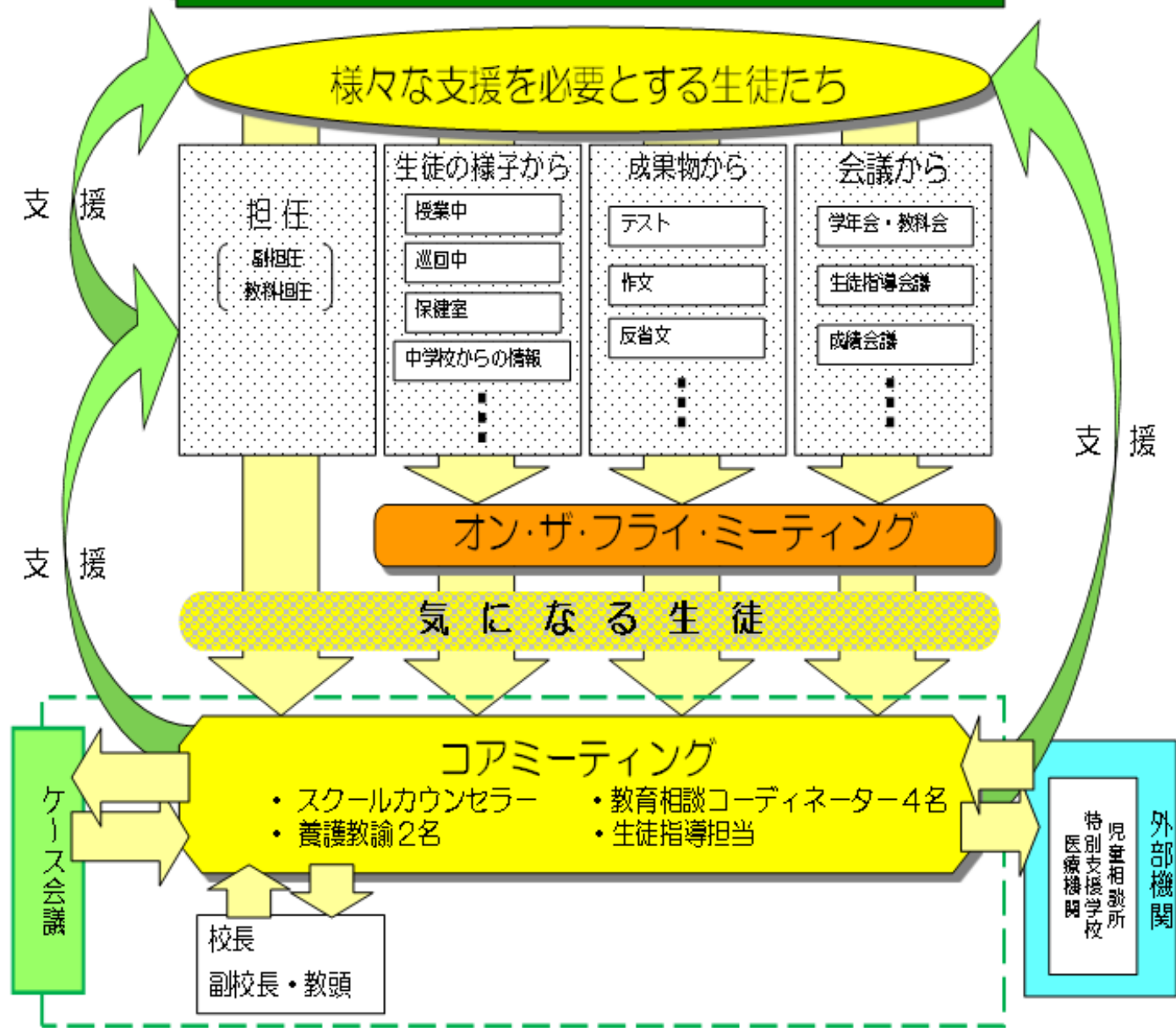
支援を中心とした学校組織文化の構築

田奈高校の生徒指導の文化

- * 対話を中心に据えた生徒指導 「どうしたの？」
- * 「気になる子ども」の把握
- * 担任団／教育相談コーディネーター／養護教諭／
スクールカウンセラー／生徒指導担当による日常的な
見守りと相談の体制
- * ひとりひとりが抱える課題に合わせた対応と外部連携

かながわの
支援教育

田奈高校における支援教育の展開 ～気になる子どもの把握とアプローチ～



「適格者主義」を超える

* 高等学校の中にある「適格者主義」

- 公立高校の定員内不合格問題
都道府県によっては、いまだに許容されている
- 入学後、ある程度「お引き取りいただく」のは当然

一定の層を問題なくやめさせ、
秩序ある学校空間を守ろうとする



地域からのプレッシャー

例◆妊娠

* 「適格者主義」では、「支援」は始まらない

困難を抱える子ども・若者支援に向けて 学校組織文化の変革とそれを支える資源の確保を

支援の実践の展開

支援を中心とした
学校組織文化

学校内の資源の確保

対話や連携を可能にする
教員数・スタッフ数の確保

学校外の
資源との連携

行政／サポステ／
NPO／地域事業所